



美しいニューイングランドの紅葉のイメージ

ニューヨーク/ボストン 紅葉の美しいパークシャーと美術館巡り

移りゆく季節の美しさに感動、

多民族の街だからこそ、世界中から超一流が集まるニューヨーク。メトロポリタン美術館(月曜休館)から始まる定番コースでバリュー感たっぷりのアートを満喫。目にも鮮やかなパークシャー地方の紅葉ドライブとノーマン・ロックウェル美術館やシェーカー・ミュージアム。紅葉の美しい東部名門大学のウィリアム・カレッジのキャンパスとアート・ミュージム(月曜休館)探訪。そして何よりも思い出に残るのがパークシャーの宝石、歴史と伝統の「レッド・ライオン・イン」での宿泊。アメリカ独立ゆかりの街ボストンをも含む、少人数(マキシマム8名)での奥の深いプライベート・ツアーです。

2009年、ツアー催行予定日: (6泊8日)

#1 10月5日(月) - 10月11日(日)

#2 10月12日(月) - 10月18日(日)

#3 10月19日(日) - 25日(日)

その他

サンプル・スケジュール:

Day 1	午前のフライトでJFK着後、ガイドの出迎えを受けて専用車でニューヨーク市内観光へ。(7時間)	マンハッタン泊 昼、夕食 込
Day 2	専用車でマンハッタン美術館巡り。 近代美術館(火曜休館)、グッゲンハイム美術館(木曜休館)、ホイットニー美術館(月、火曜休館)、フリック・コレクション(月曜休館)自然史博物館、ノイエ・ギャラリー(火、木曜休館)、イサム・ノグチ美術館(月、火曜休館)、ニュー・ミュージアム(月、火曜休館)、フォークアート美術館(月曜休館)、アート&デザイン美術館(月、火曜休館)などのうち、2、3の美術館で美術鑑賞。(ガイドは入場いたしません)ショッピングも欠かせません。(8時間)	マンハッタン泊 朝、夕食 込
Day 3	ホテルをチェックアウトした後、専用車でメトロポリタン美術館(月曜休館)へ。午後はメトロポリタン美術館の別館クロイスター(月曜休館)で美術鑑賞(ガイドは入場いたしません)の後、紅葉街道を北上。午後6時頃に「レッドライオン・イン」にチェック・イン。夕食はホテルのダイニング・ルームです。(9時間)	レッドライオン・イン泊 朝、昼、夕食 込
Day 4	紅葉の美しいニューイングランドの田舎町、ストック・ブリッジで、ノーマン・ロックウェル美術館を訪問。シェーカー教徒のコミュニティだったシェーカー・ミュージアムで彼らの歴史と生活を偲び、アメリカ東部の名門大学のひとつ、ウィリアムズ・カレッジでキャンパスと美術館(月曜休館)を訪ねます。夕食はホテルのダイニング・ルームです。(8時間)	レッドライオン・イン泊 朝、昼、夕食 込
Day 5	午前8時にホテルを出発。紅葉街道として名高いモホーク・トレイルをボストンに向けて快適ドライブ。ボストン着後、ボストン美術館やフリーダム・トレイルを中心にバーバード大学キャンパスなどの市内観光。美味しいロブスター・ディナーに舌鼓を打った後、郊外のホテルにチェック・イン。(13時間)	ボストン郊外泊 朝、昼、夕食 込
Day 6	朝、郊外のホテルを出発。紅葉の美しいボストン郊外のコンコードの街で「若草物語」の作者、ルイザ・メイ・オルコットの住んでいた家を訪問。その後、コンコード川をはさんで英軍とミニットマン(独立軍)が対峙した独立戦争始まりの地、オールド・ノース・ブリッジへ。紅葉が素晴らしい独立戦争ゆかりの旧跡公園です。最寄のレストランで夕食の後、郊外のホテルに戻ります。(13時間)	ボストン郊外泊 朝、夕食 込
Day 7	朝、郊外のホテルをボストン空港に向けて出発。	朝食 込

()内は専用車のマキシマム使用時間

お1人様の
サンプル料金:

4人の場合	5、6人の場合	7、8人の場合
¥423000.	¥380000.	¥328000.

左記料金に含まれるもの: 日程範囲内の専用車(ガイドが運転手を兼ねます)、6泊の宿泊代(2人部屋基準)、朝食6回、昼食4回、夕食6回、美術館入場料、ガイド費用とチップ

取消料: お申込みと同時に1人様¥50000、ツアーの出発日から逆算して30日以降はツアー費用の半額、当日、前日、前々日のキャンセルは全額を申し受けます。

ホテルにより料金がことなりますので参考(サンプル)でのご案内とさせていただきます 詳細はお見積となります



「レッド・ライオン・イン」
ニューイングランド地方の小さな町、ストック・ブリッジで200年以上の歴史を誇るアンティーク・ホテル。1773年に小さな宿屋として開業。その当時はアルバニーとボストンを結ぶ駅馬車の停車場としても使われており、19世紀後半には100人のゲストが泊まれるほど大きなサマー・ホテルになりましたが、1896年8月31日の火事で全焼してしまいました。幸いにも翌年建てなおして再出発。現在の建物はこの時に建てられたものです。ニューイングランド地方の歴史のある名門ホテルとして今までに数々の有名人も宿泊し、その中には5人の歴代大統領(グリーブランド、マッキンレー、セオドア・ルーズベルト、クーリッジ、フランクリン・ルーズベルト)もぶくまわっています

